



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを作って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、肝臓のケアに役立つ知識や行動が楽しく学べるボードゲームのお話です。

## 沈黙の臓器、楽しく学ぼう！

# 「肝炎すごろく」医師ら開発



肝臓を専門に診る医師らが開発したボードゲーム「肝炎すごろく」＝横浜市

## 患者の経過を疑似体験

肝臓を専門に診る医師らがボードゲーム「肝炎すごろく」を開発した。自覚症状の出ていない「沈黙の臓器」である肝臓のケアに役立つ知識や行動を楽しく学んでもらい、健康への関心が低い10～30代の若年層が生活習慣を見直したり、検査を受けたりするきっかけをつくるのが狙い。イベントなどでの一般への無料配布も検討している。

日常生活が肝臓に与える影響や、ウイルス感染でがんの原因にもなるB型、C型肝炎や「脂肪肝」のリスクの増え方を織り込んだ力作だ。国立国際医療研究センター（東京）の考藤達哉・肝炎免疫研究センター長が新しい啓発を考えるよう依頼。横浜市立大のデザイナーらが、幅広い世代に愛される「人生ゲーム」をヒントに患者の経過を疑

似体験してもらおうゲームを開発した。横浜市大コミュニケーション・デザイン・センターの西井正造助教は「楽しみながら肝臓を守ることが身近になるよう願っている」と呼びかけている。問い合わせ先は同センターウェブサイト、<https://v-cdc.org/contact/>

6月11日の夕刊にのった記事

①肝臓を専門に診る医師らが「肝炎すごろく」というボードゲームを作りました。理由と目的は何ですか

②肝炎すごろくを楽しんでもらう狙いは何ですか

③肝炎すごろくでどんなことが学べますか

④肝炎すごろくのように、日ごろの生活を見直せるボードゲームを考えてみましょう

答えは17日の「週刊まなびー」にのるよ。



もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール（[kobe-nie@kobe-np.co.jp](mailto:kobe-nie@kobe-np.co.jp)）か、はがき（〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係）で、名前と学年、または年齢を添えて7月16日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

3日週刊まなびー

ワークシートの解答例

- 6月23日。沖縄県では太平洋戦争末期に国内最大の地上戦が展開され、県民の4人に1人が犠牲になったことを悼み、後世に伝える。
- 最後の激戦地だった糸満市摩文仁の平和祈念公園。国籍や軍民を問わず、戦没者約24万人の名を刻んだ石碑「平和の礎」がある。
- 平和宣言で「二度と沖縄を戦場にさせないため、核兵器廃絶、戦争放棄に向け努力を続ける」と誓った。
- 「米軍基地負担軽減の目に見える成果を一つ一つ着実に積み重ねる」と述べた
- 自由記述